

資料5 北海道檜山沖区域の概要図

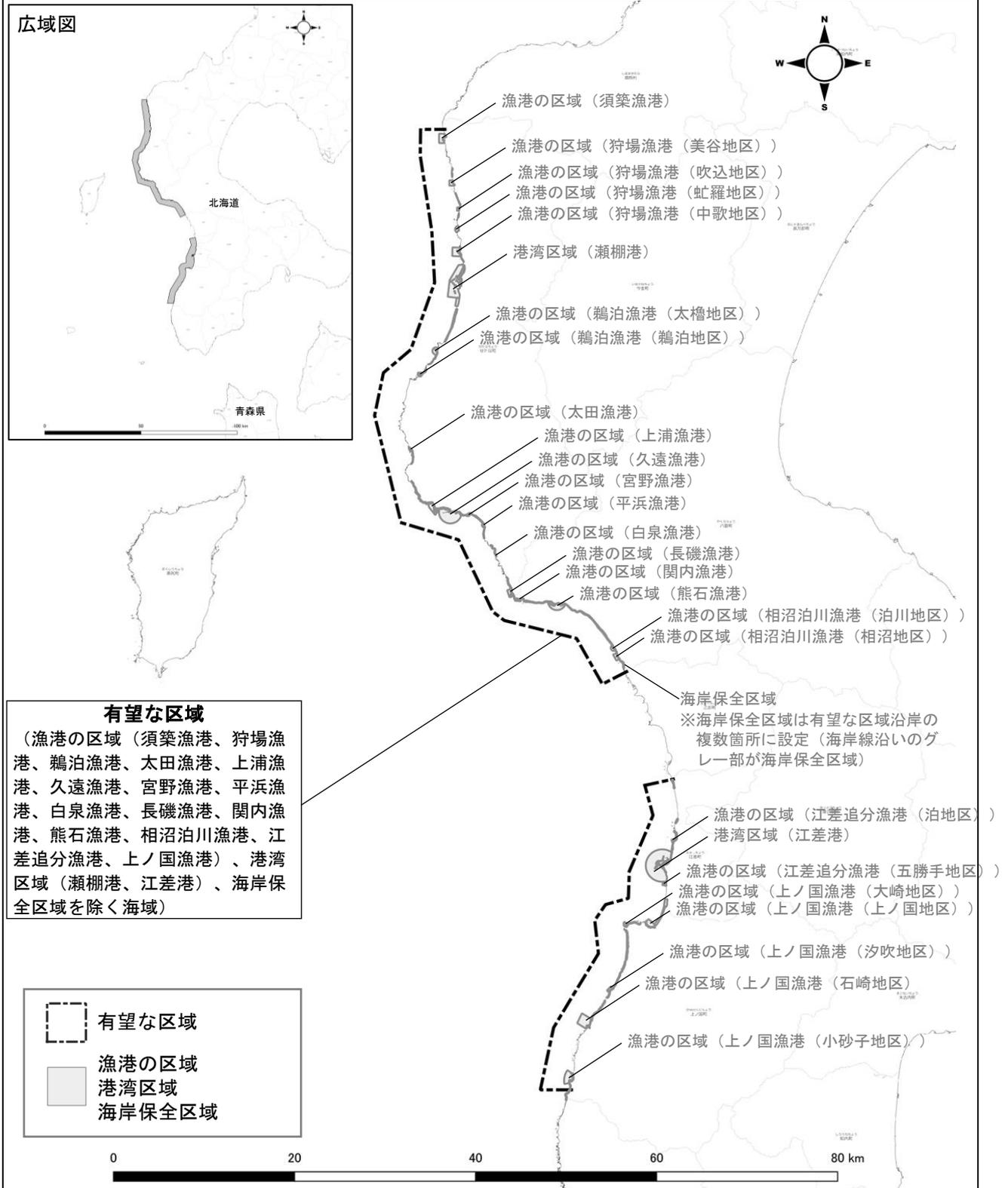
2023年12月18日

経済産業省資源エネルギー庁

国土交通省港湾局

北海道

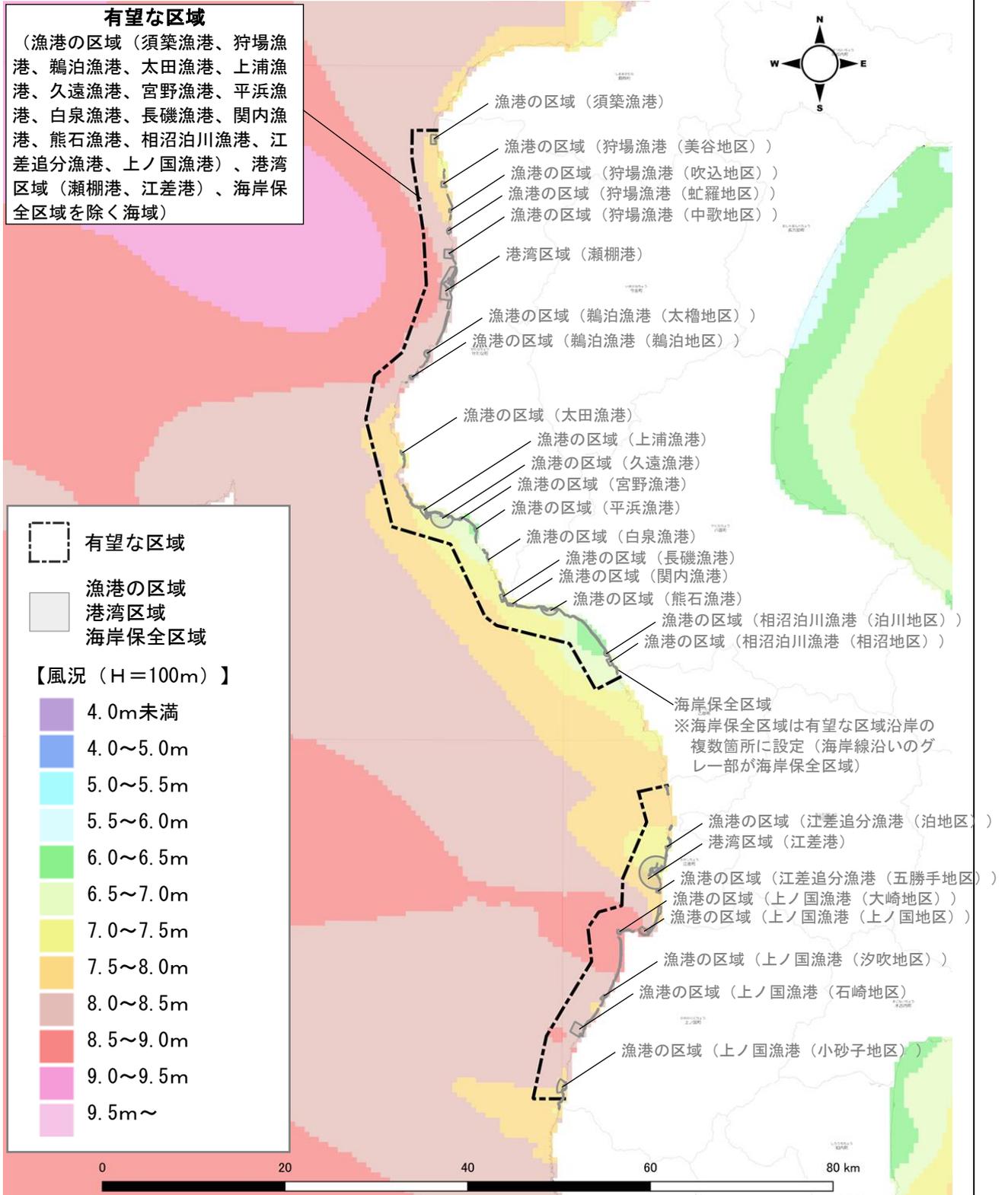
位置図



出典：北海道資料
 ：海洋台帳（海上保安庁）
 ：白地図（国土地理院）

※都道府県からの情報提供等を元に作図したものである。
 ※港湾区域、漁港の区域及び海岸保全区域は有望な区域より除外される区域のみを示している。
 ※港湾区域及び漁港の区域は海洋台帳（海上保安庁）に基づき作成、海岸保全区域は北海道提供資料（図面）のトレースにより作成しており、概ねの範囲を示すものである。
 ○系統に関する事前調査で算定した当区域において想定する出力規模は、約91～114万kWである。

自然的条件-風況



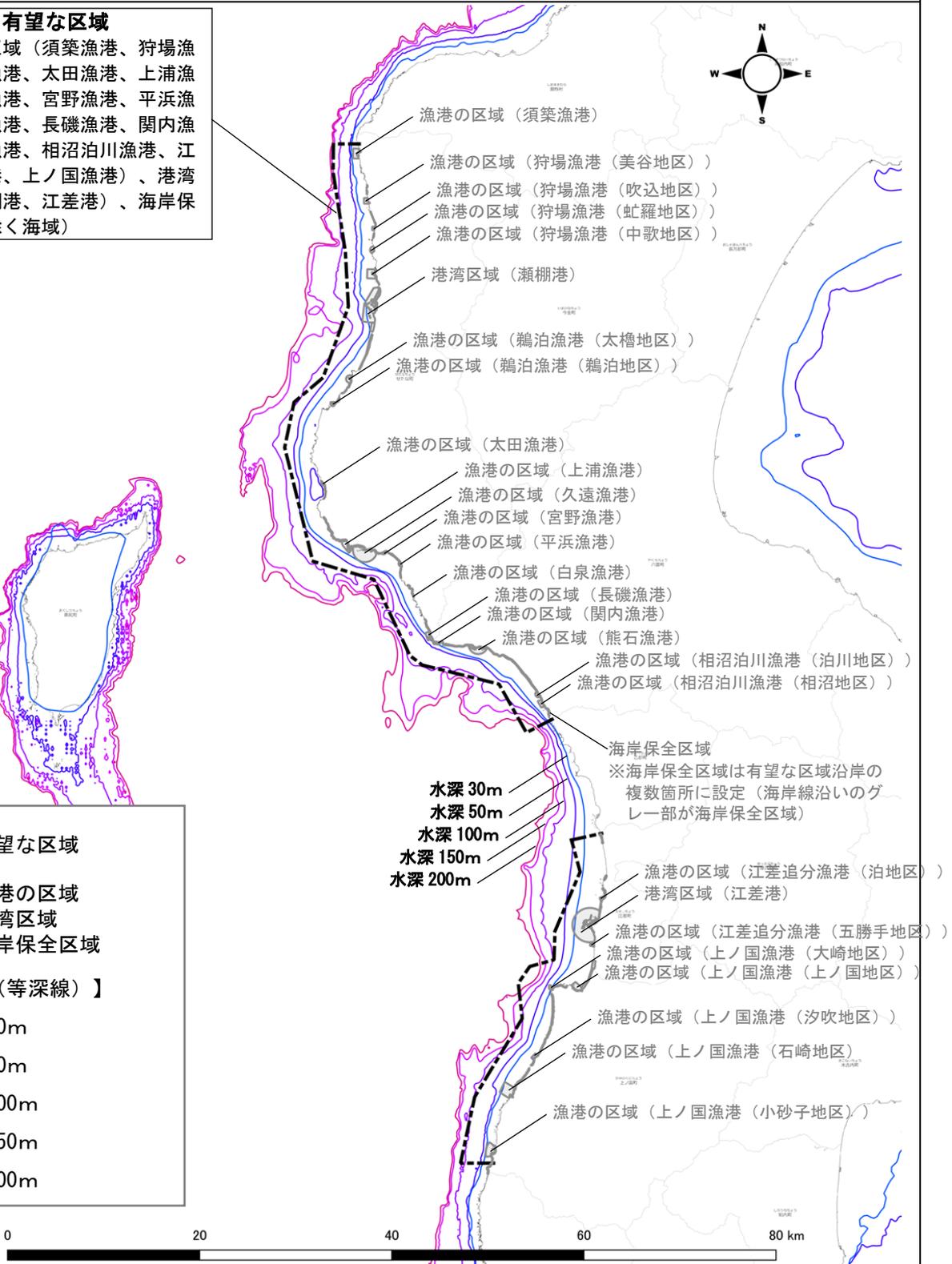
出典：北海道資料
 ：海洋台帳(海上保安庁)
 ：NeoWins 洋上風況マップ(NEDO)
 ：白地図(国土地理院)

※都道府県からの情報提供等を元に作図したものである。
 ※港湾区域、漁港の区域及び海岸保全区域は有望な区域より除外される区域のみを示している。
 ※港湾区域及び漁港の区域は海洋台帳(海上保安庁)に基づき作成、海岸保全区域は北海道提供資料(図面)のトレースにより作成しており、概ねの範囲を示すものである。

自然的条件-水深

有望な区域
 (漁港の区域(須築漁港、狩場漁港、鶴泊漁港、太田漁港、上浦漁港、久遠漁港、宮野漁港、平浜漁港、白泉漁港、長磯漁港、関内漁港、熊石漁港、相沼泊川漁港、江差追分漁港、上ノ国漁港)、港湾区域(瀬棚港、江差港)、海岸保全区域を除く海域)

有望な区域
 漁港の区域
 港湾区域
 海岸保全区域
【水深(等深線)】
— 30m
— 50m
— 100m
— 150m
— 200m

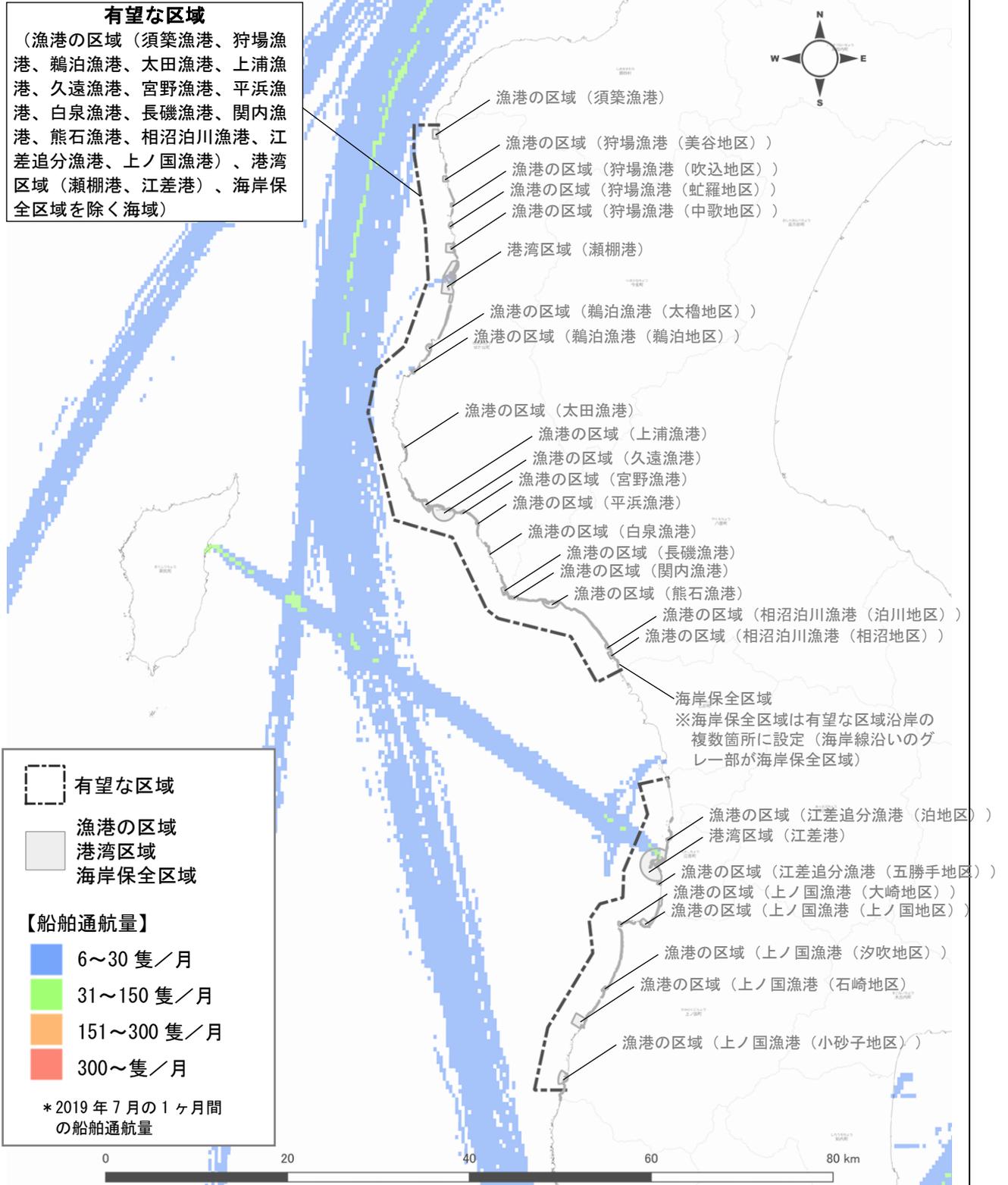


出典：北海道資料
 : 海洋台帳(海上保安庁)
 : 水深データ(日本海洋データセンター)
 : 白地図(国土地理院)

※都道府県からの情報提供等を元に作図したものである。
 ※港湾区域、漁港の区域及び海岸保全区域は有望な区域より除外される区域のみを示している。
 ※港湾区域及び漁港の区域は海洋台帳(海上保安庁)に基づき作成、海岸保全区域は北海道提供資料(図面)のトレースにより作成しており、概ねの範囲を示すものである。

船舶通航量

有望な区域
 (漁港の区域(須築漁港、狩場漁港、鶴泊漁港、太田漁港、上浦漁港、久遠漁港、宮野漁港、平浜漁港、白泉漁港、長磯漁港、関内漁港、熊石漁港、相沼泊川漁港、江差追分漁港、上ノ国漁港)、港湾区域(瀬棚港)、海岸保全区域を除く海域)



有望な区域
 漁港の区域
 港湾区域
 海岸保全区域

【船舶通航量】

6~30 隻/月
 31~150 隻/月
 151~300 隻/月
 300~隻/月

* 2019年7月の1ヶ月間の船舶通航量

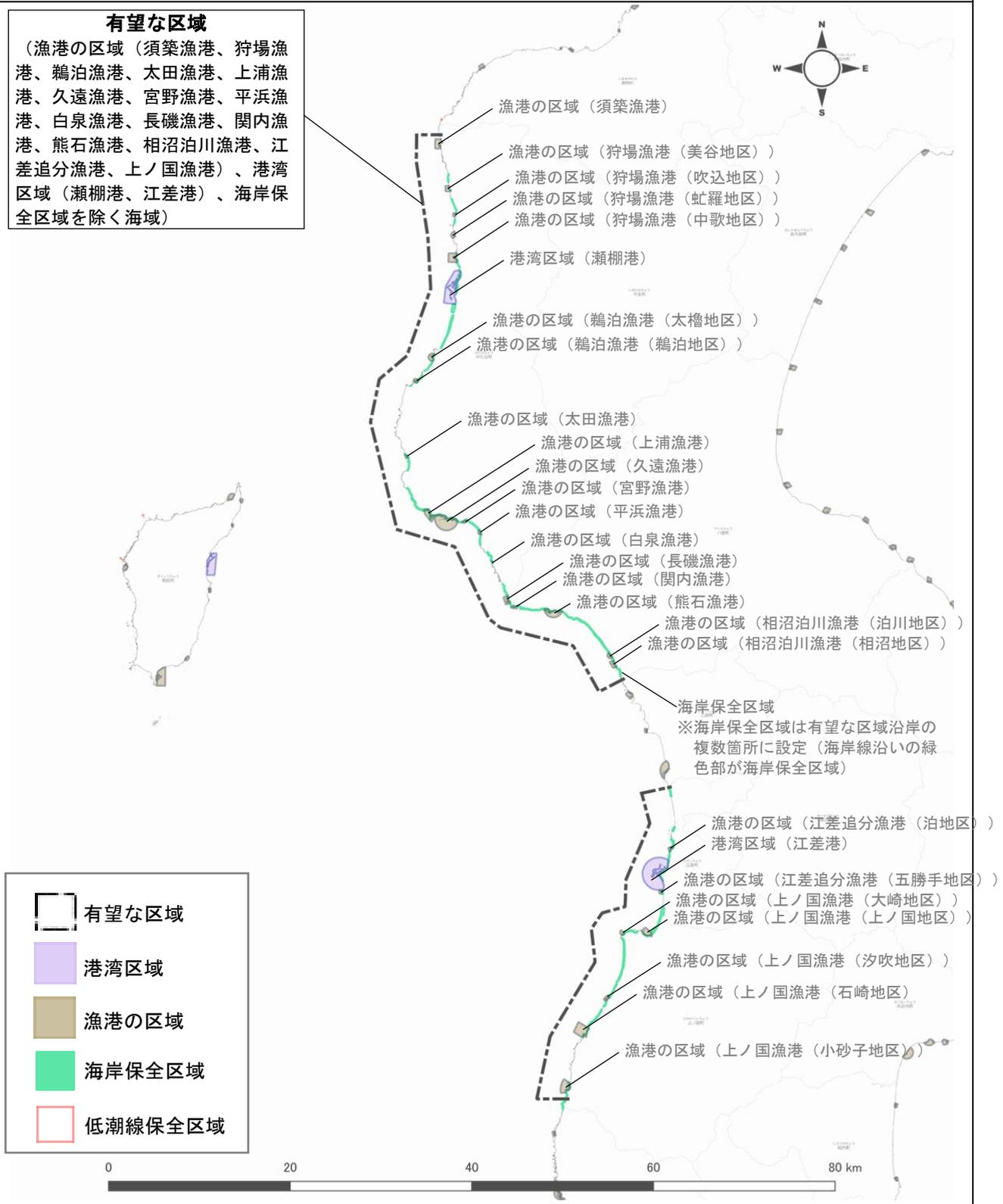
出典：北海道資料
 ：海洋台帳（海上保安庁）
 ：白地図（国土地理院）

※都道府県からの情報提供等を元に作図したものである。
 ※港湾区域、漁港の区域及び海岸保全区域は有望な区域より除外される区域のみを示している。
 ※港湾区域及び漁港の区域は海洋台帳（海上保安庁）に基づき作成、海岸保全区域は北海道提供資料（図面）のトレースにより作成しており、概ねの範囲を示すものである。

港湾区域、漁港の区域、海岸保全区域、低潮線保全区域

有望な区域

(漁港の区域(須築漁港、狩場漁港、鶴泊漁港、太田漁港、上浦漁港、久遠漁港、宮野漁港、平浜漁港、白泉漁港、長磯漁港、関内漁港、熊石漁港、相沼泊川漁港、江差追分漁港、上ノ国漁港)、港湾区域(瀬棚港)、海岸保全区域を除く海域)



- 有望な区域
- 港湾区域
- 漁港の区域
- 海岸保全区域
- 低潮線保全区域

出典：北海道資料
：海洋台帳(海上保安庁)
：白地図(国土地理院)

※都道府県からの情報提供等を元に作図したものである。
 ※港湾区域及び漁港の区域の内、名称を示している区域は有望な区域より除外される区域となる。
 ※海岸保全区域は有望な区域より除外される区域のみを示している。
 ※港湾区域、漁港の区域及び低潮線保全区域は海洋台帳(海上保安庁)に基づき作成、海岸保全区域は北海道提供資料(図面)のトレースにより作成しており、概ねの範囲を示すものである。